

第104回
沖縄地方交通審議会
船員部会 議事録

平成29年6月15日（木）

沖縄総合事務局

第104回沖縄地方交通審議会船員部会

日 時 平成29年6月15日（木）14時00分
場 所 沖縄総合事務局 5F 海技試験室

出席者：

公益委員	宮里委員、儀部委員、春田委員、上江洲委員
労働者委員	姫路委員、大崎委員
使用者委員	大城委員、山内委員

沖縄総合事務局	大城課長、島袋調整官 宮城補佐、大村係長
---------	-------------------------

議事次第

○開 会

○議 事

1. 第103回船員部会の議事録承認について
2. 管内の雇用状況等について
3. 意見交換

○閉 会

（配付資料）

1. 第103回船員部会の議事録（案）
2. 船員職業紹介実績等一覧表（平成29年5月分）

宮里部会長

定刻でございますので、第104回船員部会をはじめさせていただきます。

本日の委員の出席状況と配付資料の確認を事務局よりお願いします。

事務局（大村係長）

本日の出席状況ですが、公益委員4名、労働者委員2名、使用者委員2名が出席されており、船員部会運営規則第9条の規定により定足数を満たし、有効に成立していることをご報告いたします。

事務局（大村係長）

それでは配付資料の確認をさせていただきます。

（配付資料の確認）

宮里部会長

それでは、初めに第103回船員部会の議事録の承認について、お諮りします。

お手元に配付されています議事録をご確認ください。

議案のとおり承認してよろしいでしょうか。

各委員

（「はい」）

宮里部会長

では異議なしということで、承認されたものといたします。

続きまして、議事2の「管内の雇用状況等」につきまして、事務局にご説明をお願いします。質問は、最後に受け付けたいと思います。

事務局（宮城補佐）

平成29年5月分の管内雇用状況等の概要についてご報告いたします。

●求人状況について

新規求人数は12件でした。前月に比べ11件増加、また、前年同月に比べ6件増加となっております。

月間有効求人数は12件でした。前月に比べ1件増加、また前年同月に比べ10件減少となっております。

月間有効求人数12件の内訳は、商船等11件、漁船1件となっております。

月末未済求人数は11件でした。

●求職状況について

新規求職数は6名でした。前月に比べ1名増加、また、前年同月に比べ4名増加となっております。

新規求職数 6 名の内訳は、商船等 6 名となっております。
月間有効求職数は 14 名でした。前月に比べ 9 名減少、また、前年同月に比べ 3 名減少となっております。
月間有効求職数 14 名の内訳は、商船等 13 名、漁船 1 名となっております。
月末未済求職数は 9 名でした。

● 成立状況について

5 月は 2 件でした。

● 求人倍率について

5 月の月間有効求人倍率は、0.86 倍でした。前月に比べ 0.38 ポイント増加、また、前年同月に比べ 0.43 ポイント減少となっております。

● 新規求職者の退職理由又は求職理由別内訳について

5 月の新規求職者 6 名のうち離職者 5 名の退職理由は、船舶所有者都合等 2 名、自己都合 3 名、離職以外の方 1 名の求職理由は、就業中に転職を希望する者 1 名となっております。

新規求職者が所属していた会社所在地は、管内が 5 名、管外が 1 名となっております。

● 失業等給付支給内訳について

基本手当受給者実人員は 2 名、支給延べ件数は 3 件で、基本手当支給金額は 264,711 円、その他の支給はありませんでしたので、総支給額は 264,711 円でした。

以上、管内雇用等状況の概要の説明を終わります。

宮里部会長

はい、ありがとうございました。では、ただいまの説明について、何かご質問ございますでしょうか。

では、私からいいですか。有効求職と有効求人がある程度ある中で、2 件しか成立していませんが条件等が合わなかったということでおろしいですか。

もう少し成立してもよい気がします。

事務局（大村係長）

今回、成立した 2 件は県外の会社です。県内を希望していても求人条件が合わないため県外の会社を紹介していますが、どうしても県内という求職者が多く成立には至っていません。

大崎委員

新規求職の表には管内、管外、外国とありますが、求人についてはいかがですか。

事務局（宮城補佐）

漁船以外は管内の事業者です。漁船の事業者は、鹿児島です。

沖縄の求職者は免状を持っている方は高齢で、若くて資格を持っている方を条件としている県内の会社とマッチングがうまくいくっていません。

今回期限切れで該当しませんでしたが、大卒未経験の方が管外の部員として紹介期限が過ぎた後に1名採用されました。教員を希望していましたが就職がないということで、3月に来ていましたが無事5月になって採用が決まりました。

宮里部会長

内航船ですか。

事務局（宮城補佐）

内航船です。

山内委員

漁船のほうで先月も求職者が1名おりましたが、今回はこの方が成立したということですか。

事務局（宮城補佐）

まだ成立していません。今回出ている求人は若い方を求めていて、この方は50歳以上のためマッチングがうまくいっていません。

大崎委員

未経験でこの年齢だったら相当厳しいのかなと思います。さきほど言われたミスマッチの話でいうと、沖縄県内に就職口を求めて求職している方がおられるという中で、沖縄に求人を出している会社の商船の部分でいうと、年齢とかいろいろあると思いますが、賃金の面でも相当違うという気はします。高齢者の方であれば、やはり生活給も高いと思うのでそのところはミスマッチというのは非常にあるとは思います。今後その両方の折り合いをつけていただいて、早期就職に繋げていただきたいです。会社のほうも歩み寄っていただかないと船員不足は解消されませんので、是非会社のほうと連携していただければと思います。

あと、2ページ下段にある退職のところに定年と期間満了とありますが、船員の定年についてどのように考えているか教えてください。陸上では労働基準法に定年とありますが、高年齢者雇用安定法で60歳以下の定年は認めていません。船員は、そもそも定年があるのかないのか教えてください。

事務局（宮城補佐）

今回、定年・期間満了が2名となっていますが、2名とも期間満了での退職となっております。船員の定年については、確認させてください。

宮里部会長

他にございませんでしょうか。

特ないようすで、議事3の「意見交換」に移りたいと思います。何かご意見等ございますか。

事務局（大城課長）

前回、大崎委員から沖縄県実習船代替建造についてのご質問がありましたのでお答えします。

沖縄県教育庁県立学校教育課に確認したところ、沖縄県実習船海邦丸五世代船建造に係る基礎調査等業務委託募集要領にある入学希望者見通し調査に宮古総合実業高等学校が調査対象でない理由として、沖縄水産高等学校海洋技術科の入学者数が40名で最大数がこれをもって確保されているため、沖縄水産高等学校を調査対象にしたということでございました。また、県内事業者の選定については県内の船員求人見通しの調査であるため、卒業生を採用している船社を中心に決めアンケート及びヒアリング等で調査するとのことです。そして、建造までの流れについてですが現在の実習船は建造より16年目を迎えた船建造の時期になっており5月26日に業務委託先を決定し、船員求人の見通し及び沖縄水産高等学校海洋技術課への入学見通しについての調査をおこない、7月下旬開催予定の沖縄県実習船代船建造委員会で報告するということになっております。

この委員会の委員長として沖縄水産高等学校長、委員として宮古総合実業高等学校長が選任されているようでございます。

以上です。

宮里部会長

他にないようでしたら、事務局から連絡がありますのでお願ひいたします。

事務局（大村係長）

来月の船員部会は、7月20日木曜日の14時から2階共用会議室Cで開催します。

開催通知につきましては準備が整い次第お送りしますので、出席できない場合は大村のほうまでご連絡お願いします。

また今回の議事録は作成次第メールで照会させていただきますので、ご確認よろしくお願ひします。

以上です。

宮里部会長

それでは、本日の部会はこれで終了したいと思います。